

## 第152回 KG 神奈川を楽しむ会 報告 観梅「花と文学の寺・鎌倉瑞泉寺を訪ねて」

開催日：2019年（平成31年）2月20日（水）

参加者：52名

当日コース：鎌倉駅 → 《京急バス》 → 鎌倉宮(大塔宮) → 永福寺跡 → 瑞泉寺（入山）  
→ 凜林（昼食） → 鎌倉宮(大塔宮) → 覚園寺 → 鎌倉宮(大塔宮) [一次解散] →  
→ 荏柄天神社 → 鶴岡八幡宮 [解散] → 鎌倉駅

第152回 観梅「花と文学の寺・鎌倉瑞泉寺を訪ねて」は2月20日(水) 52名が参加して開催されました。当日は不安定な天気予報を覆<sup>くつがえ</sup>すような麗<sup>うらら</sup>かな春の日となり 参加者は午前9時50分 鎌倉駅東口改札前付近に集合しました。混雑している駅前を避け 受付を済ませた人から2台(9:45発 10:05発)のバスに分乗して鎌倉宮(大塔宮)に向かいました。

後続グループの到着後、鎌倉宮の境内で当日の行程と歩行時の諸注意を含めた朝の挨拶を行いました。折りしも 同宮ではご祭神護良親王の命日にあたる毎月20日の月次祭『つきなみさい』が執り行われており 巫女さんの姿が見られました。それぞれ 参拝を済ませた後 集合写真を撮って 次の目的地 永福寺跡<sup>ようふくじあと</sup>に向けて出発しました



集合風景（鎌倉駅東口）



鎌倉宮 到着



朝の挨拶（鎌倉宮境内）



鎌倉宮 参拝

集合写真（鎌倉宮）





鎌倉時代を代表する遺跡として国の史跡に指定されている永福寺跡は 広大な敷地の中に往時を偲ばせる大寺院の遺構と前面の広い池が再現されており 各所に設置された案内板を見ながらそぞろ歩くという長閑<sup>のどか</sup>な散策を楽しむことができました。



永福寺跡へ向かう



永福寺跡 到着



永福寺跡 散策風景 (1)



永福寺跡 散策風景 (2)



永福寺跡 出発



つづいて 二階堂の閑静な住宅街を通り抜けて 今回の一番の目的地、臨済宗円覚寺派の寺・瑞泉寺に向かいました。花と文学の寺として名高く 鎌倉一の梅の名所ということで期待に胸を膨らませて入山しましたが、開花が遅く『観梅』というにはいささか寂しい風情でした。しかし 福寿草や黄梅の花が目を楽しませてくれました。また 偶然にもKG同窓生(東京在住)に遭遇するという嬉しいハプニングもありました。仏殿の背後にある鎌倉時代唯一の有名な庭園を見学したりして 各自 境内を散策した後、入口脇の梅林前で集合写真を撮りました。





瑞泉寺 到着



瑞泉寺 参道石段



瑞泉寺 本堂



瑞泉寺 境内



集合写真 (瑞泉寺)





その後 瑞泉寺から数分の食事処『鎌倉 凜林』に向かいました。凜林は 看板もなく 普通の民家なので 知る人ぞ知る隠れ家のようなお店です。収容人数 50名のところ 今回は 52名全員が食事できるように2階も使って もてなしていただきました。素敵な設<sup>しつら</sup>えのお部屋で 心尽くしの昼御膳をいただき ゆっくりと談笑の時間を楽しむことができました。



「凜林」(食事処) 到着



食事風景 (1)



食事風景 (2)



食事風景 (3)



食事風景 (4)



食事風景 (5)



食事風景 (6)



「凜林」庭園テラス



お腹も満たされ 凜林を後にして鎌倉宮(大塔宮)への道を引き返し 午後の散策ルート、真言宗泉桶寺派の寺・覚園寺に向けて出発しました。覚園寺は奥まっているため 知らない人が多く 今回のコースに入れましたが、静寂な境内を奥深く巡るには 時間が足りず 今回は入口付近だけを拝観しました。小休憩の後 鎌倉宮(大塔宮)に戻り 代表世話役から今後の例会案内、支部事務局(佐藤氏)から連絡事項があり 一次解散となりました。



覚園寺(山門) 到着



覚園寺 境内

つづいて 荏柄天神社に向かいましたが、境内の梅は まさに見頃を迎えており 芳<sup>かんば</sup>しく ご褒美をもらったような気分になりました。その後 最終目的地、鶴岡八幡宮に向かい 表参道まで進んだところで、終礼・散会となりました。



荏柄天神社 参道石段



荏柄天神社 境内

今回は、観梅を楽しみに多くの方にご参加いただきましたが 瑞泉寺の梅はまだ見頃には早く それだけが残念でした。しかし 瑞泉寺以外の寺社や道中の家の庭先の梅が美しく出迎えてくれ、『凜林』での会食とともに 早春の一日を楽しく過ごすことができました。

